[第5章]



第1節 学校教育の充実

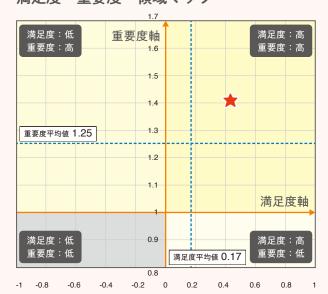
一目指す姿 一

- 学校での学びを通じて、時代に対応できる「生きる力」を育むまち
- 子どもの個性を尊重し、知・徳・体のバランスのとれた学びを提供するまち

一 まちづくり指標 一

指標	基準値(令和 6 年度)	目標値(令和 11 年度)
学校教育に対する満足度を向上します	0.978	1.070

満足度・重要度 領域マップ



関係する個別計画

- ◎西条市教育大綱 令和7年度~令和11年度
- ◎西条市教育基本方針 毎年度策定
- ○西条市学校給食基本構想 令和元年度~
- ○学校施設長寿命化計画 令和7年度~令和11年度
- ○西条市学校給食施設整備基本計画 令和3年度~

市民からの声

● 小学校や中学校の施設整備を進めてほしい。



(1) 一人ひとりの子どもを大切にする学校を目指します

子どもの状態や家庭環境等を把握し適切な指導や支援につなげるため、相談支援体制の充実と関係機関 との連携強化に努めるとともに、保護者、地域、関係機関と連携・協働して一人ひとりの子どもを大切に する教育を推進します。

指標(KPI)	基準値	目標値(令和 11 年度)
学校への復帰を希望する児童・生徒について、 教育 支援教室等からの復帰者を増加します	31.6%(令和5年度)	35.0%
コミュニティ・スクールによる地域ボランティアの登録 者数を増加します(累計)	延べ 1,283 人 (令和 6 年度)	延べ 1,340 人

(2)確かな学力の定着と向上を目指します

学校教育において基礎的な知識・技能の定着を図るとともに、学んだことを活用して課題を解決するた めに必要な思考力・判断力・表現力を身に付けられるように取り組みます。また、国が推進するGIGA スクール*構想に基づき、ICTの活用等、時代に即応した学びを推進します。

指標(KPI)	基準値	目標値(令和 11 年度)
小中学校における全国学力状況調査で全国平均以上 の学校数を増加します	18 校(令和 5 年度)	21 校
I C T を効果的に活用した授業を推進するため、 スクールタクト認定マスター*を増やします(累計)	44 人(令和 5 年度)	100人

(3) 特色ある学校教育の取組を進めます

それぞれの学校や地域の実情に応じて特色ある取組を進めるとともに、グローバル社会を生き抜く人材 育成に向けた英語教育を推進します。

指標(KPI)	基準値	目標値(令和 11 年度)
中学校における全国学力状況調査で英語科目が全国 平均以上の学校数を増加します	3 校(令和5年度)	6 校



Tを活用した英語学習



ICTを活用した「学びあい学習」



第2節 社会教育の充実

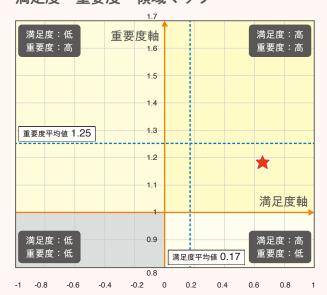
一目指す姿一

- 生涯にわたり学びの機会や学習の場が充実しているまち
- 公民館等を拠点に市民がつながり、地域活動に活かされるまち
- 市民一人ひとりが自らの知識・能力・経験を地域づくりに還元できるまち

一 まちづくり指標 一

指標	基準値(令和 6 年度)	目標値(令和 11 年度)
社会教育に関心のある市民の割合を向上します	1.18	1.43

満足度・重要度 領域マップ



関係する個別計画

◎第2次西条市子ども読書活動推進計画 令和5年度~令和9年度

市民からの声

● 図書館やホール等、文化的な施設を活用しや すくすることが市の魅力につながる。







(1) 地域づくり、人づくり、つながりづくりを目指した社会教育を推進します

地域の公民館等を活用した学習機会や親睦・交流等の機会の提供を通じて、地域コミュニティ活動を活 発化するため、地域の自主性・主体性を活かした地域密着型の生涯学習を推進します。

指標(KPI)	基準値	目標値(令和 11 年度)
市民1人当たりの公民館主催・共催事業の参加回数 を増加します	0.9 回(令和 5 年度)	1.7 回

(2) 家庭・地域の教育力の向上を図ります

子どもを持つ保護者の教育力の向上に努めるとともに、学校・家庭・地域と関係団体が連携して、社会 性、協調性、豊かな心を持つ青少年の健全育成を図る取組を進めます。

指標(KPI)	基準値	目標値(令和 11 年度)
放課後子ども教室*・地域未来塾*・土曜教育の1 回当たりの参加者数を増加します	14.5 人(令和 5 年度)	20.0 人

(3) 社会教育施設の利用促進を図ります

市民の生涯学習に関するニーズに対応するため、公民館等の社会教育施設の基盤整備と学習環境の充実 に努めます。また、図書館を人づくり・まちづくり・情報発信の拠点として位置づけ、市民のニーズに対 応したサービス機能の充実に努めます。

指標(KPI)	基準値	目標値(令和 11 年度)
市民1人当たりの公民館の利用回数を増加します	4.3 回(令和 5 年度)	6.0 回
市民1人当たりの図書館利用回数を増加します(電子図書館含む)	3.4 回(令和 5 年度)	4.8 回
市民1人当たりの生涯学習の館の利用回数を増加します	0.12 回(令和 5 年度)	0.17 回







専門的な体験活動



第3節 地域文化の振興と継承

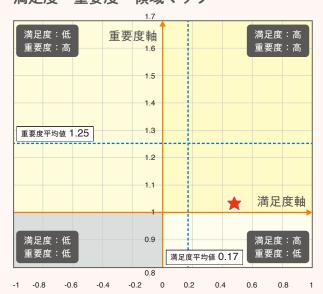
一目指す姿一

- 郷土の歴史・伝統・文化を愛する心を育み、次代に継承できるまち
- 市民が身近に文化芸術活動に参加できるまち

一 まちづくり指標 一

指標	基準値(令和 6 年度)	目標値(令和 11 年度)
市民の地域文化の継承・形成に関する関心度を向 上します	1.04	1.05

満足度・重要度 領域マップ



市民からの声

● 地道な文化活動にも目を向けてほしい。







(1) 地域に根差した市民文化の振興を図ります

文化会館や公民館をはじめ社会教育施設の活用を促進するとともに、各種文化団体や自主サークル活動の支援を通じて、郷土の歴史・伝統・文化に対する市民意識の向上に取り組みます。

また、地域で活動している人と子どもたちが交流することにより、幼少期から郷土の歴史・伝統・文化に触れ、学ぶことができる機会の提供に努めます。

さらに、郷土文化の掘り起こしや市内各地で開催される伝統行事の紹介、伝統文化・芸術に触れる機会 の充実等により、郷土の歴史・伝統・文化を次代に担う人材育成に取り組みます。

指標(KPI)	基準値	目標値(令和 11 年度)
参加型文化活動事業の参加者数を増加します	961 人(令和 5 年度)	1,100 人
市民1人当たりの文化芸術活動への参加回数を増 加します	0.6 回(令和 5 年度)	1.0 回



文化協会文化祭 尺八



文化協会文化祭 洋画展示



文化協会文化祭 生花展示



文化協会文化祭 ダンス



第4節 歴史文化の保全と活用

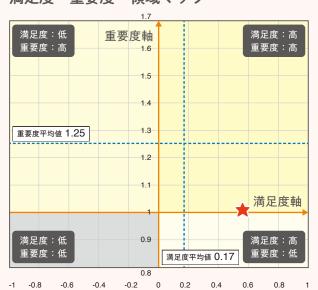
一目指す姿一

- 市民共有の財産として文化財を次代に継承していくまち
- 郷土の先人・偉人の優れた業績に身近に触れることができるまち

一 まちづくり指標 一

指標	基準値(令和 6 年度)	目標値(令和 11 年度)
市民の歴史文化の保全・活用に関する関心度を向 上します	1.02	1.05

満足度・重要度 領域マップ



関係する個別計画

○史跡永納山城跡保存整備基本計画 平成 27 年度~

市民からの声

● 歴史と文化の保存・継承に取り組んでほしい。







(1) 文化財の保護と活用を図ります

西条市が誇る文化財を次代に継承するため、国指定史跡「永納山城跡」等の文化財の保存・活用に取り 組むとともに、広報・啓発により市民意識の醸成を図ります。

また、市内に点在する埋蔵文化財資料や歴史資料等を分野別に整理・管理して調査研究を進めるととも に、文化財に関する情報発信を行います。

指標(KPI)	基準値	目標値(令和 11 年度)
指定・登録文化財の件数を増加します(累計)	198 件(令和 5 年度)	203 件
史跡永納山城跡の保存整備を進めます(累計)	43.0%(令和5年度)	90.0%
市民 1 人当たりの博物館・歴史館等の来館回数を増加します	0.37 回(令和 5 年度)	0.50 回

(2) 偉人顕彰に関する情報発信を実施します

西条市にゆかりのある先人・偉人の業績に関して情報発信することにより、市民の郷土愛を育むことに つなげます。

指標(KPI)	基準値	目標値(令和 11 年度)
パネル展、ホームページ等により先人紹介を行い ます	7回(令和5年度)	10 回



西条ゆかりの偉人常設展示



石鎚黒茶国重要無形民俗文化財指定記念シンポジウム



国登録有形文化財 森家住宅



東予郷土館でのワークショップ



第5節 人権・同和教育の推進

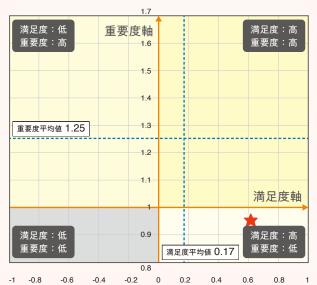
一目指す姿一

- 市民一人ひとりに人権感覚が身に付き、互いが尊重されるまち
- 部落問題をはじめとする、あらゆる差別の解消を目指す、人権文化の根付いたまち

一 まちづくり指標 一

指標	基準値(令和 6 年度)	目標値(令和 11 年度)
市民の人権・同和教育の推進に関する重要度を高 めます	0.94	1.00

満足度・重要度 領域マップ



関係する個別計画

○西条市人権文化のまちづくり基本計画 平成 22 年度~

市民からの声

● 学校や職場やいろいろなメディアを活用して 学びの場を作ってもらいたい。











(1) 効果的な啓発活動を推進します

人権問題は市民一人ひとりの問題であり、決して他人事ではないという考えのもとに、現存する人権に 関する問題を解決するため、全ての市民の人権が真に尊重される地域社会の実現を目指した広報・啓発活 動や学びの場の提供に取り組みます。

指標(KPI)	基準値	目標値(令和 11 年度)
人権意識が高まった市民の割合を増加します	76.9%(令和5年度)	80.0%

(2) 関係団体と連携し、人権・同和教育を推進します

学校・地域・家庭や職場等のあらゆる機会や場において、様々な人権について考えられるよう関係機関 と連携した取組を進めることで、互いの立場を理解し、多様性を認め合える地域社会の実現を目指します。

指標(KPI)	基準値	目標値(令和 11 年度)
企業部会の研修会への参加者数を増加します	70 人(令和 5 年度)	100人



NPO法人プロジェクト 2008 による人権啓発劇



心のサポーター養成講座



NPO法人プロジェクト 2008 による人権啓発劇



人権・同和教育講座